

受験番号	
------	--

日本赤十字秋田看護大学大学院
看護学研究科看護学専攻修士課程

令和5年度 II期 入学試験問題

〔科目試験〕

高度実践看護学分野（がん看護）

【注意事項】

- 1 制限時間は60分です。
- 2 試験問題は、表紙を含めて全部で 3 枚あります。
- 3 受験番号は、この表紙と解答用紙の全てに記載してください。
- 4 質問があるときは、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 5 試験問題及び解答用紙は、持ち帰ってはいけません。

問1. がん薬物療法を受ける患者への看護について、以下の 1)、2) に解答してください。

1) 分子標的治療薬の主な副作用を 5 つ挙げてください。

下記図のいずれかの副作用（朱字・黒字の別なく）が書いてあれば正解。

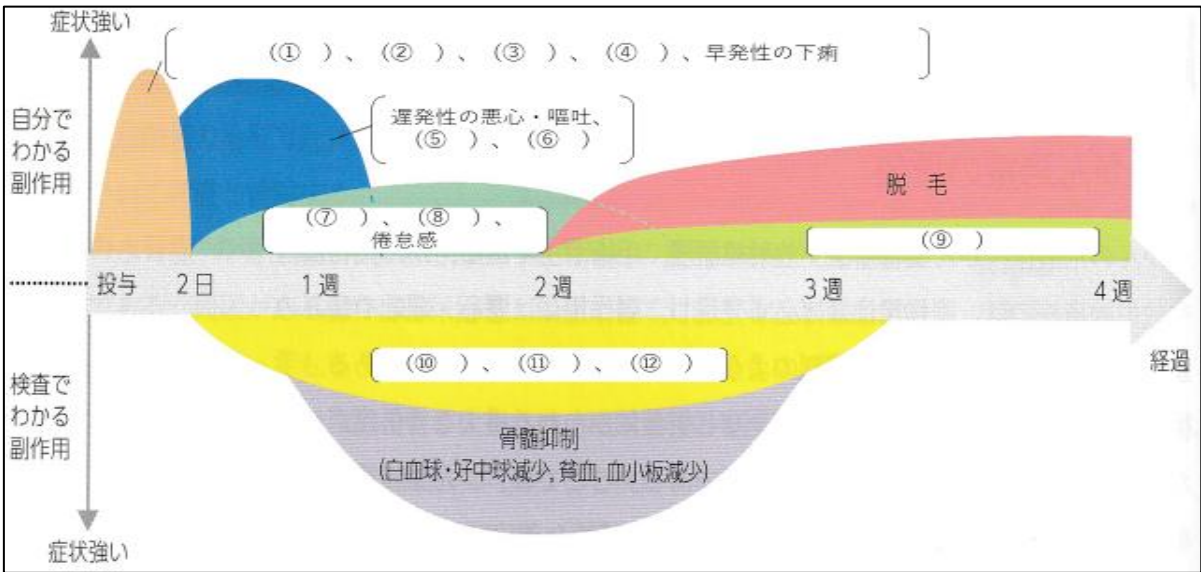
【主な分子標的治療薬の副作用】

抗体薬	抗EGFR抗体薬	●皮膚障害 ●下痢	●間質性肺炎 ●低Mg血症	●infusion reaction
	抗HER2抗体薬	●心毒性	●間質性肺炎	
	抗VEGF抗体薬／ 抗VEGFR2抗体薬	●高血圧 ●蛋白尿 ●創傷治癒遅延 ●嘔吐	●出血 ●血栓塞栓症 ●消化管穿孔	
	抗CD20抗体薬	●免疫抑制		
小分子薬	EGFRチロシンキナーゼ阻害薬	●皮膚障害 ●下痢	●肝障害 ●間質性肺炎	
	HER2チロシンキナーゼ阻害薬	●皮膚障害	●心毒性 ●下痢 ●肝障害	
	VEGFRチロシンキナーゼ阻害薬 (多標的阻害薬)	●高血圧 ●下痢 ●アミラーゼ、リパーゼ上昇	●手足症候群 ●出血 ●甲状腺機能障害(亢進および低下) ●肝障害	
	BCR-ABL阻害薬	●皮膚障害 ●体液貯留	●悪心・嘔吐 ●肝障害	●骨髄抑制
	mTOR阻害薬	●免疫抑制 ●脂質異常症	●口内炎 ●間質性肺炎	●高血糖

根拠資料：がんが見える第1版 メディックメディア p136

2) 下記図は、細胞障害性の抗がん薬の主な副作用の出現時期です。

①～⑫に該当する副作用を解答欄に書いてください。〔 〕内は順不同とします。



①急性の悪心・嘔吐	②アレルギー反応	③血圧低下（不整脈）
④呼吸困難	⑤食欲低下	⑥便秘
⑦口内炎	⑧（遅発性の）下痢	⑨神経障害
⑩腎機能障害	⑪肝機能生姜煮	⑫心機能障害

- 3) 2) の内容をふまえ、細胞障害性の抗がん薬による薬物療法を受けた患者への必要な看護援助（アセスメントの視点と介入）について、骨髄抑制への対応を中心に述べてください。（400 字以内）

評価基準：アセスメントの視点と介入として、下記を記載している。

- ①白血球・好中球減少時の感染症の検査所見・症状のアセスメントと感染予防
- ②血小板減少時の出血傾向の検査所見・症状のアセスメントと出血予防
- ③赤血球減少時の貧血の検査所見・症状のアセスメントと転倒予防

根拠資料：ナースングラフィ緩和ケア第3版 メディカ出版 2022 p140-141